

# 競技に関する注意事項

## 1 競技会全般に関して

1. 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および、本大会申し合わせ事項により実施する。また、競技者は日本陸連「競技会における広告及び展示物に関する規定」を適用し、違反する場合は注意を行う。本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. **WBGT 値が31を超えた場合、競技を中断または中止することがある。また、中止した場合でも参加料の返還は一切行わない。**
3. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく（受付がない場合、競技者は競技に出場できない）。
4. **競技場の開門は7：30を予定している。ただし、準備の状況により前後することがある。**
5. 招集所、招集時間について
  - (1) 招集所は、正面スタンド1Fスタート側選手入場口に設ける。
  - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。出場種目が重複し、競技中に招集時間が設定されている場合は、最初の招集の際に申し出る。
5. 事故・怪我の発生について  
主催者は、競技会中やウォーミングアップ中などに発生した事故・怪我について、応急手当は行うがその責任を一切負わない。
6. ウォーミングアップについて

### (1) 本競技場

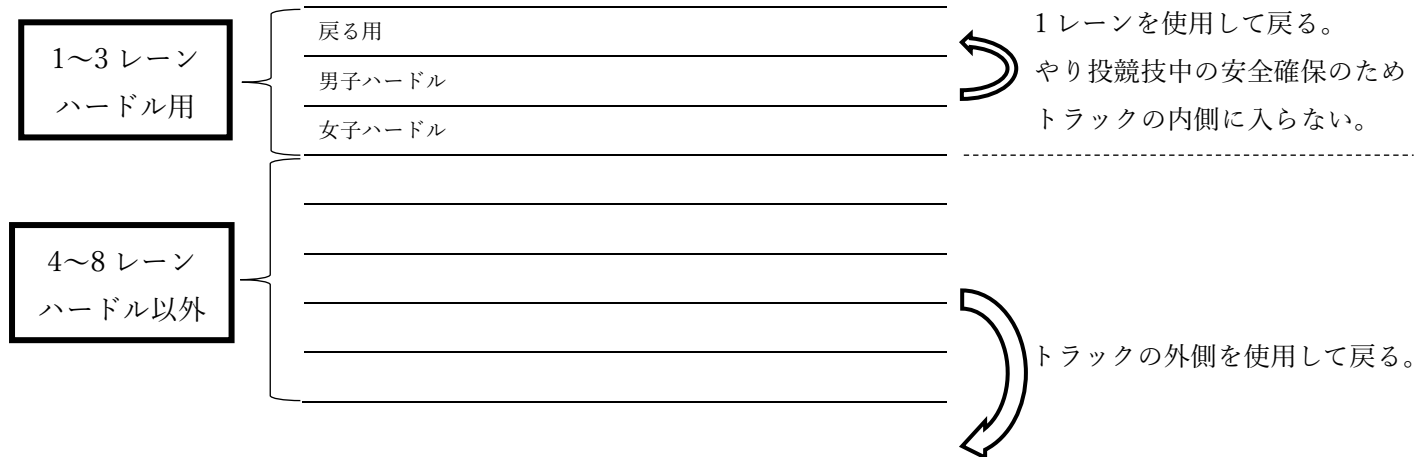
本競技場内でのウォーミングアップは**競技および運営に支障のない範囲**で行うことができる。ただし、**競技中の選手に助力となるような行為やホームストレート、インフィールドでのウォーミングアップは禁止とする。** また、WBGT 値が31を超えた場合、ウォーミングアップでの使用を中止することがある。  
競技開始前のウォーミングアップについては、**準備が完了した後、第1種目開始15分前まで**行うことができる。

ハードルを利用したウォーミングアップは競歩終了後、バックストレート側から第3コーナーで行うことができる。戻る際は1レーンを使用し、トラックの内側には入らないこと。

1レーン：戻り用レーン 2レーン：男子ハードル 3レーン：女子ハードル

ハードル以外のウォーミングアップは4～8レーンで行い、接触等に十分注意して使用すること。

バックストレート～第3コーナー



## (2) ウォーミングアップ場 [野球場]

- ①終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
- ②跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用しての練習は実施できない。
- ③他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。

## (3) 施設内のジョギングコースなどについて

他の利用者や通行車両などに迷惑をかける行為は行わない。また、事故が無いように注意する。

## 7. 施設設備の使用について

- (1) **1階正面玄関ウッドデッキを控え場所として使用しない。**(緊急時には、避難場所として使用する。)
- (2) 今大会では競技終了後の清掃当番をおかない。各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
- (3) フィニッシュライン側の選手入場口横にクーリングルームを設ける。但し、場所取りは禁止とし、譲り合って使用すること。

## 8. 写真及びビデオ撮影について

- (1) 撮影に使用できる機器はスマートフォンまたはタブレットのみとする。**デジタルカメラ、ビデオカメラ、一眼レフカメラ等での撮影は禁止**とする。
- (2) 本人及び保護者の了承がない撮影を禁止する。
- (3) 下記のエリアはどのような人物であっても撮影禁止とする。
  - ・グラウンドレベルでの撮影
  - ・各種目のスタート後方
  - ・走高跳、棒高跳、走幅跳の助走後方と着地前方
  - ・走高跳、棒高跳のマットに向かった正面(クリアランス動作中)
- (4) スターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (5) 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。

## 2 競技に関して

### 1. アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。  
トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (2) 長距離種目においては、腰ナンバーカードを両腰につけることもある。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに返却する。

### 2. 競技の番組編成について

トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。

### 3. 競技用靴について

- (1) 審判長の判断により。競技終了後に靴底の厚さを計測することがある。計測の結果、違反が認められた場合はその競技者を失格とする。
- (2) 使用するシューズが適正であるかは、各自でWAのシューズリストで確認をしておくこと。  
\*WAシューズリスト→LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES
- (3) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。

4. レース直前のスターティングブロックの足合わせは競技時間の都合上20m程度までとする。
5. 400mまでのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
6. リレー種目で複数チーム申込をした場合、チーム間を移動して出場することはできない。
7. リレーのダッシュマークは主催者側が用意したものを使用する。
8. 走高跳の競技開始の高さは男子145cm・女子120cmとする。但し、天候等により審判長の判断で変更することがある。棒高跳は開始の高さは選手の状況を見て判断する。
9. 競技器具について
  - (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。
  - (2) 棒高跳の「ポール」は、各自が持参した物を使用する。

3 会場図について



<補助員>

|           |               |   |               |   |                    |
|-----------|---------------|---|---------------|---|--------------------|
| 役員係       | 岡崎            | 2 |               |   |                    |
| ナンバーカード回収 | 安城南           | 4 |               |   |                    |
| スターター     | 岡崎北           | 2 | 愛産大三河         | 4 | 三好 2               |
| 出発係       | 知立東           | 2 | 刈谷北           | 2 |                    |
| 風力        | 豊田南           | 2 |               |   |                    |
| ハードル      | 豊田<br>[1・2台目] | 2 | 豊野<br>[3・4台目] | 2 | 西尾東<br>[5・6・7台目] 3 |
| 跳躍        | 豊田西<br>走幅跳    | 2 | 安城学園<br>走幅跳   | 4 | 岡崎城西<br>走高跳/棒高跳 6  |
| 投てき       | 愛教大附          | 4 | 三好            | 4 |                    |
| 準備・片付け    | 三好            |   | 安城学園          |   | 岡崎城西               |